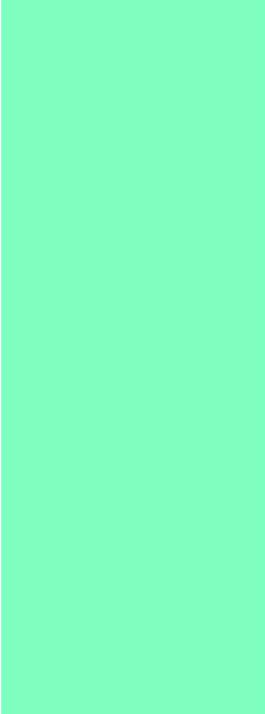


「町田市学びの多様化プロジェクト に係る児童生徒状況調査」 結果概要

町田市学校教育部教育センター
調査受託：株式会社日本能率協会総合研究所



1 調査概要

調査の概要

背景と目的

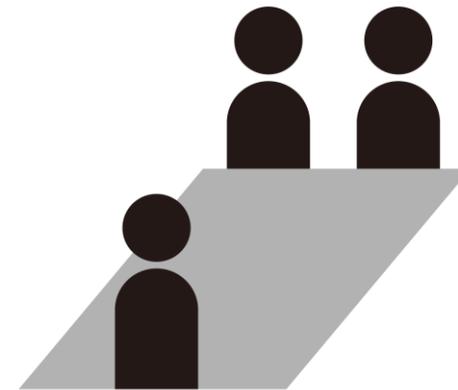
- 学校を休んでいる子どもの学びの場を確保し、必要な相談や情報につながる仕組みを整えるよう、取り組む事項を示した「学びの多様化プロジェクト2024-2028」を策定
- 町田市の児童生徒の生活状況と「学びの多様化プロジェクト2024-2028」の推進のために必要なこと等を把握
- 2025年に開設を予定している「分教室型学びの多様化学校」についての希望を把握

調査の手法

● アンケート調査



● ヒアリング調査



調査の概要

● アンケート調査



	①教育センター利用者調査		②フリースクール在籍者調査	
調査対象	2024年度に教育センターを利用したことがある児童・生徒(小学校4年生～中学校3年生)及び保護者		2024年9月にフリースクールに在籍している児童・生徒(小学校4年生～中学校3年生)及び保護者	
抽出方法	アンケート調査票を手渡しできる調査対象者		フリースクールを通して、市内在住の児童・生徒に配付	
調査方法	郵送またはWEBによる回収		郵送またはWEBによる回収	
調査期間	2024年6月3日(月)～7月1日(月)		2024年8月27日(火)～9月30日(月)	
	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者
有効回答数	47件	72件	13件	18件

児童・生徒計

60件

保護者計

90件

● ヒアリング調査



	③ヒアリング調査	
調査対象	①のアンケート調査でヒアリング調査に協力が得られた人(児童・生徒及び保護者)	
抽出方法	①のアンケート調査でヒアリング調査に協力が得られた人のうち、日程調整ができた人	
調査方法	スクールカウンセラーによる対面でのヒアリング	
調査期間	2024年7月22日(月)～8月21日(水)	
	保護者のみ	児童・生徒及び保護者
有効回答数	15件	3件

計

18件

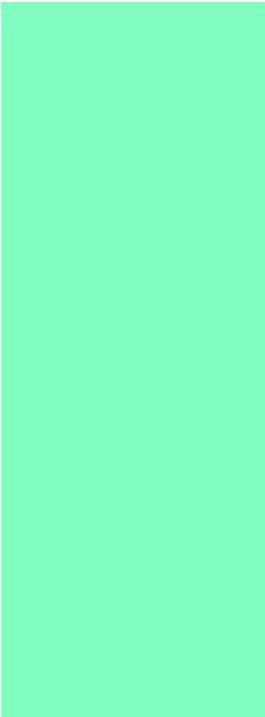
参考：アンケート調査設問

児童・生徒調査

設問番号	設問形式	設問文
問 1	単一回答	あなたは何年生ですか。
問 2	単一回答	平日の昼間、あなたが学校以外で主に過ごしているところはどこですか。
問 3	複数回答	あなたがそこで過ごすことについて、だれかにすすめられましたか。
問 4	複数回答	あなたは、そこでどのようなことをしていますか。
問 5	単一回答	あなたが、学校以外の場所で過ごし始めたとき、誰かに相談しましたか。
問 6	複数回答	あなたは、悩みや困りごとをだれに相談しましたか。
問 7	複数回答	あなたは今、相談したいことはありますか。
問 8	単一回答	町田市では、今後、不登校の子どもたちのための学校（学びの多様化学校）を作る計画があります。あなたは、そのような学校があれば通いたいと思いますか。
問 9	複数回答	学びの多様化学校でどのようなことがしたいですか。
問 10	自由回答	どのようなことでも良いので、あなたがこれからしてみたいと思うことを教えてください。

保護者調査

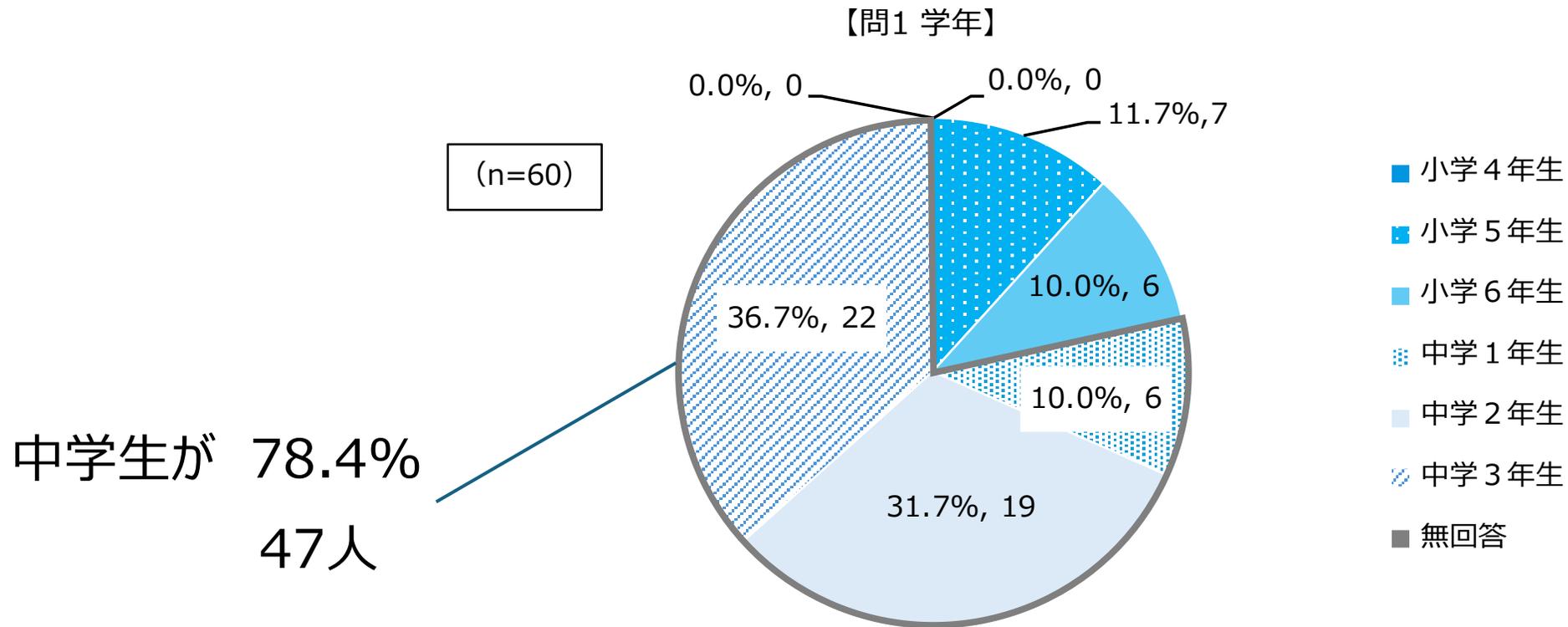
設問番号	設問形式	設問文
問 1	単一回答	このアンケートを回答いただく方について、お子さんとの関係を教えてください。
問 2	単一回答	対象となるお子さんの学年をお答えください。
問 3	複数回答 (3 つまで)	お子さんが平日の昼間、よく過ごしているところはどこですか。上位 3 つまで回答してください。
問 4	単一回答	お子さんが、日中学校以外で過ごすようになった最初の時期を教えてください。
問 5	複数回答	お子さんが、日中学校以外で過ごすようになったきっかけについて、考えられるもの全てをお答えください。
問 6	単一回答	お子さんが学校以外の場所で過ごし始めたとき、誰かに相談しましたか。
問 7	複数回答	相談した方について、あてはまるもの全てをお答えください。
問 8	複数回答	お子さんの教育上の課題について利用できる、以下の支援やサービスの内、あなたがご存知のものはありますか。
問 9	複数回答	問 8 で答えた支援やサービスのうち、実際に利用したものすべてをお答えください。
問 10	単一回答	町田市では、不登校児童・生徒向けに教育課程を編成して教育を実施する「学びの多様化学校」の設置を検討しています。設置された場合、お子さんにすすめたいと思いますか。
問 11	複数回答	「学びの多様化学校」をすすめたいと思う理由を教えてください。
問 12	複数回答	お子さんが「学びの多様化学校」に通うためには、どのようなサポートがあれば良いと思いますか。
問 13	複数回答	お子さんに「学びの多様化学校」をすすめない理由を教えてください。
問 14	複数回答	あなたは今、お子さんのことについて、相談したいことはありますか。
問 15	自由回答	お子さんへのサポートとして、今後どのようなことがあれば良いと思いますか。良いと思うことを教えてください。
問 16	単一回答	お答えいただいた内容について、より正確に把握し、今後の施策に活用するため、ヒアリング調査へご協力いただけますか。



2 児童・生徒調査結果の概要

回答者の学年

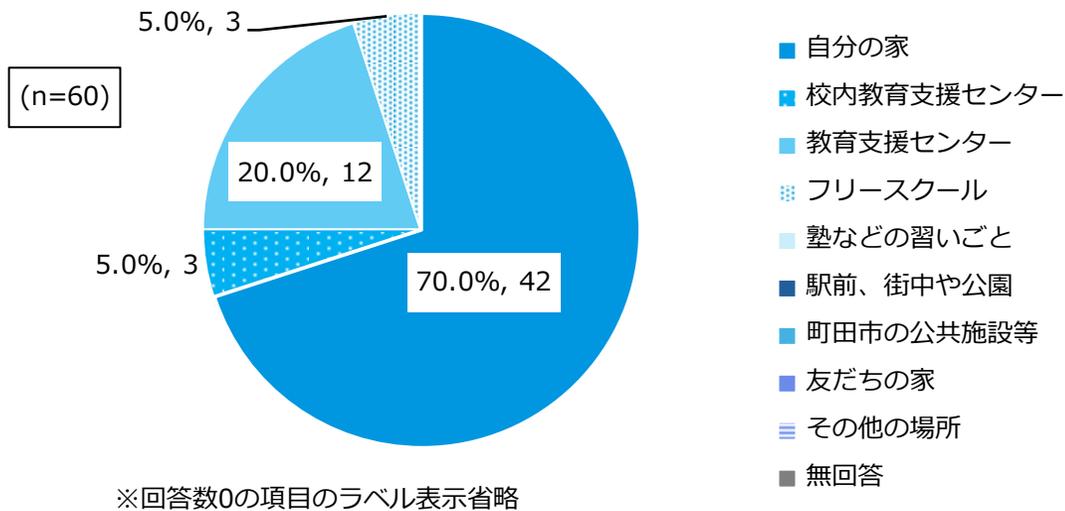
- 学年は、「小学生5年生」が11.7%で7人、「小学生6年生」「中学1年生」がそれぞれ10.0%で6人、「中学2年生」が31.7%で19人、「中学3年生」が36.7%で22人でした。「小学生4年生」の回答はありませんでした。
- また、『小学生（4～6年生）』でみると21.7%で13人、『中学生（1～3年生）』でみると78.4%で47人でした。



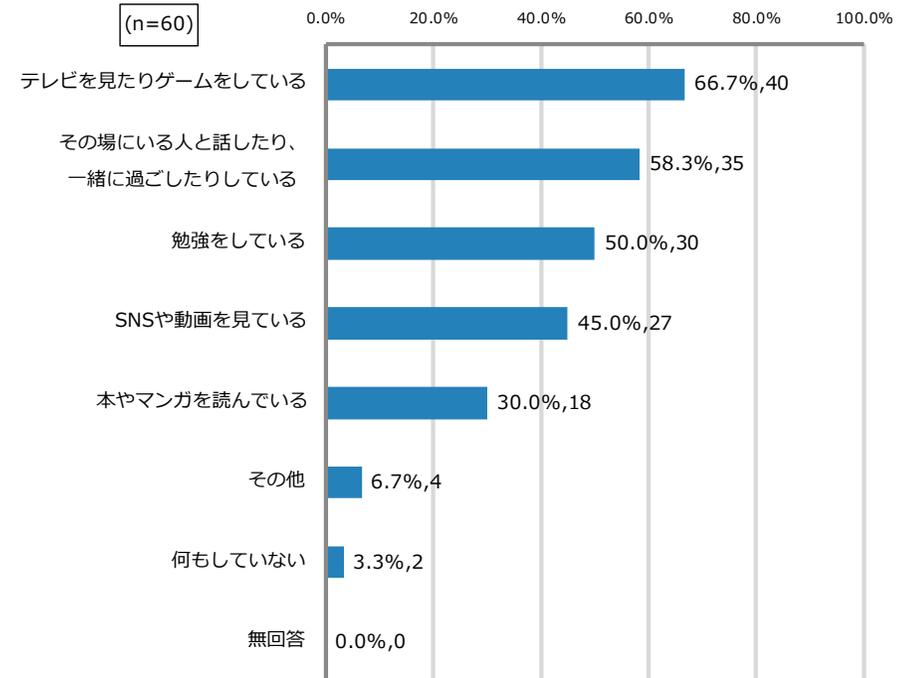
学校以外で平日昼間に過ごしている場所、していること

- 平日の昼間、学校以外で主に過ごすところは「自分の家」が70.0%で42人、「校内教育支援センター」が5.0%で3人、「教育支援センター」が20.0%で12人、「フリースクール」が5.0%で3人でした。
- 平日の昼間、学校以外で主に過ごすところでしていることについて、「テレビを見たりゲームをしている」（66.7%で40人）が最も多く、次いで「その場にいる人と話をしたり、一緒に過ごしたりしている」（58.3%で35人）となっています。

【問2 平日の昼間に学校以外で過ごしている場所】



【問4 平日の昼間、学校以外で主に過ごすところでしていること】



問2. 平日の昼間、あなたが学校以外で主に過ごしているところはどこですか。【○はひとつだけ】

問4. あなたは、そこでどのようなことをしていますか。【あてはまるもの全てに○】

学校以外で平日昼間に過ごしている場所×していること

- 自分の家では「テレビを見たりゲームをしている」が90.5%と最も高く、次いで「SNSや動画を見ている」が61.9%となっています。
- 校内教育支援センターの中の別教室では「その場にいる人と話したり、一緒に過ごしたりしている」が100.0%、次いで「勉強をしている」が66.7%となっています。
- 教育支援センター・くすのき教室・やどかり教室・こもれびスペース、フリースクールでは「勉強をしている」が多くなっています。

【問2 平日の昼間に学校以外で過ごしている場所×問4 平日の昼間、学校以外で主に過ごすところで行っていること】

	n	テレビを見たりゲームをしている	その場にいる人と話したり、一緒に過ごしたりしている	勉強をしている	SNSや動画を見ている	本やマンガを読んでいる	その他	何もしていない
全体	60	66.7%	58.3%	50.0%	45.0%	30.0%	6.7%	3.3%
自分の家	42	90.5%	50.0%	31.0%	61.9%	42.9%	9.5%	4.8%
校内教育支援センターの中の別教室	3	-	100.0%	66.7%	-	-	-	-
教育支援センター・くすのき教室・やどかり教室・こもれびスペース	12	16.7%	75.0%	100.0%	8.3%	-	-	-
フリースクール	3	-	66.7%	100.0%	-	-	-	-
塾などの習いごと	-	-	-	-	-	-	-	-
駅前、街中や公園	-	-	-	-	-	-	-	-
町田市の公共施設等	-	-	-	-	-	-	-	-
友達の家	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の場所	-	-	-	-	-	-	-	-

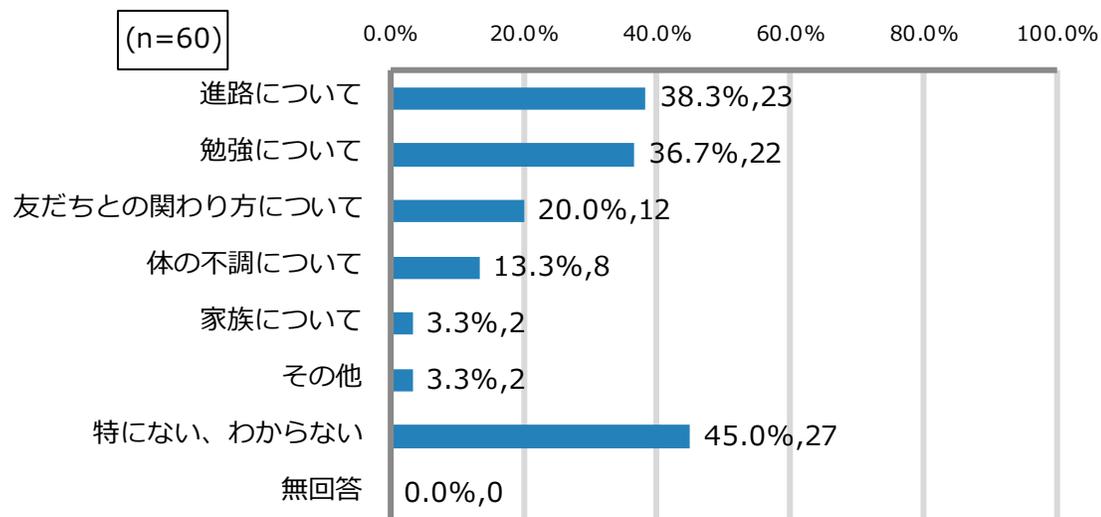
問2. 平日の昼間、あなたが学校以外で主に過ごしているところはどこですか。【○はひとつだけ】

問4. あなたは、そこでどのようなことをしていますか。【あてはまるもの全てに○】

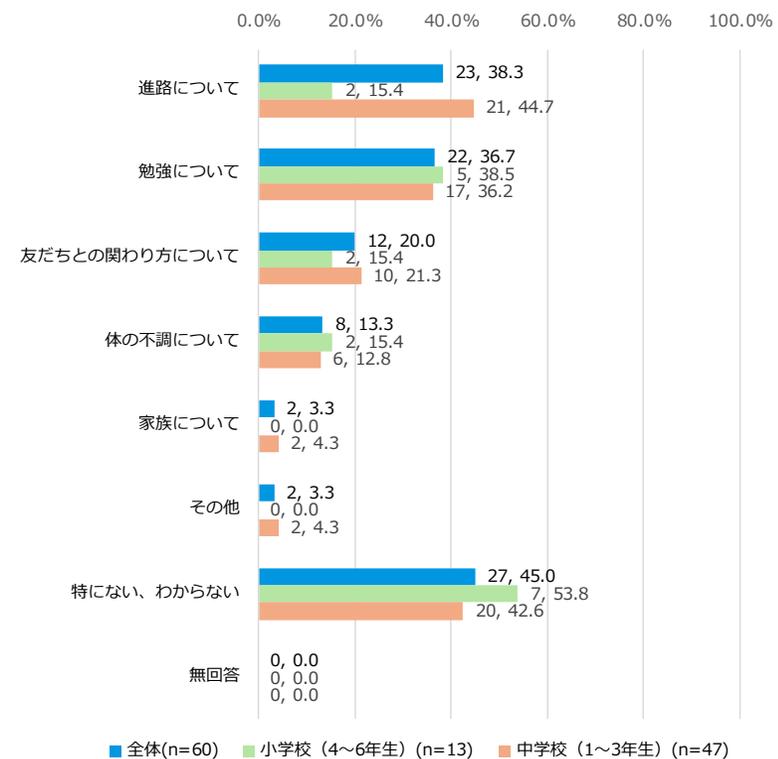
現在、相談したいことの内容

- 現在、相談したいことの内容として、「特にない、わからない」を除くと、「進路について」（38.3%で23人）が最も多く、次いで「勉強について」（36.7%で22人）、「友だちとの関わり方について」（20.0%で12人）となっています。
- 学年別（問1）でみると、「中学校（1～3年生）」は「小学校（4～6年生）」よりも「進路について」の割合が高くなっています。

【単純集計】



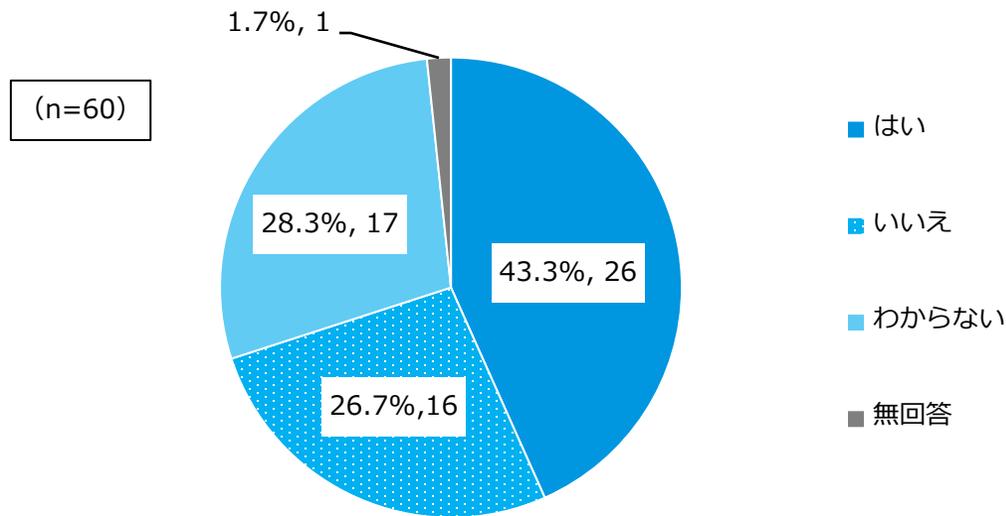
【クロス集計】



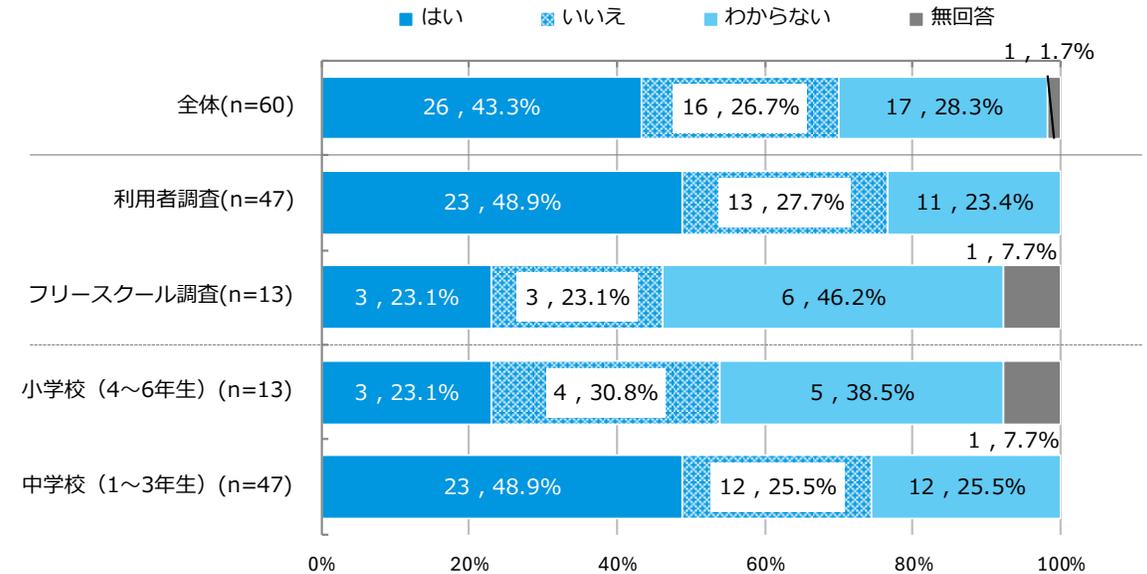
「学びの多様化学校」への通学希望

- 「学びの多様化学校」への通学希望について、「はい」が43.3%で26人、「いいえ」が26.7%で17人、「わからない」が28.3%で17人となっています。
- 調査別でみると、「利用者調査」では「はい」が48.9%で23人、「フリースクール調査」では「はい」が23.1%で3人となっています。
- 学年別（問1）でみると、「小学校（4～6年生）」では「はい」が23.1%で3人、「中学校（1～3年生）」では「はい」が48.9%で23人となっています

【単純集計】



【クロス集計】

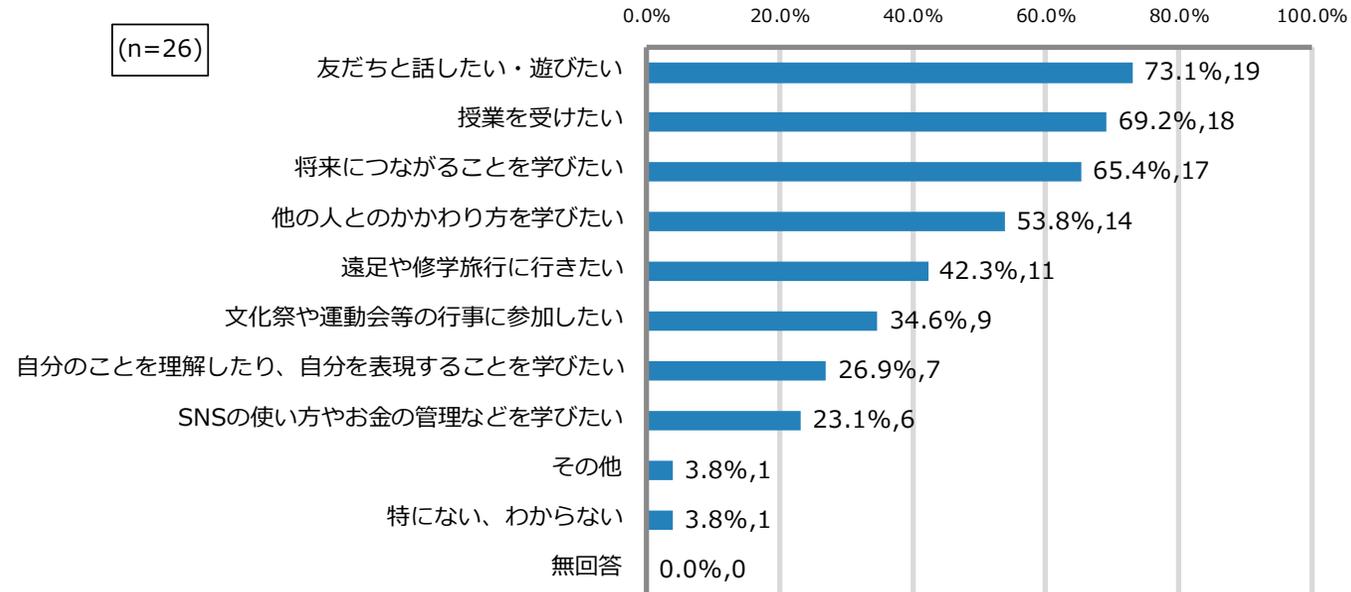


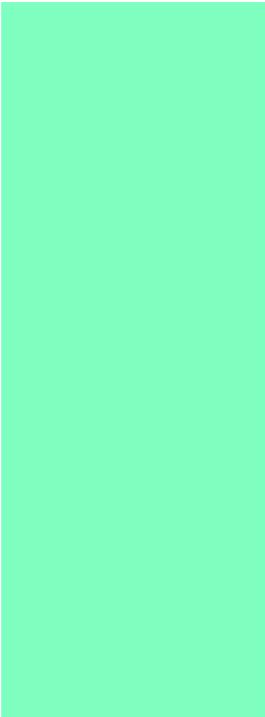
問8. 町田市では、今後、不登校の子どもたちのための学校（学びの多様化学校）を作る計画があります。あなたは、そのような学校があれば通いたいと思いますか。【○はひとつだけ】

「学びの多様化学校」でしたいこと

- 「学びの多様化学校」でしたいことについて、「友だちと話したい・遊びたい」（73.1%で19人）が最も多く、次いで「授業を受けたい」（69.2%で18人）、「将来につながることを学びたい」（65.4%で17人）となっています。

【問9「学びの多様化学校」でしたいこと】



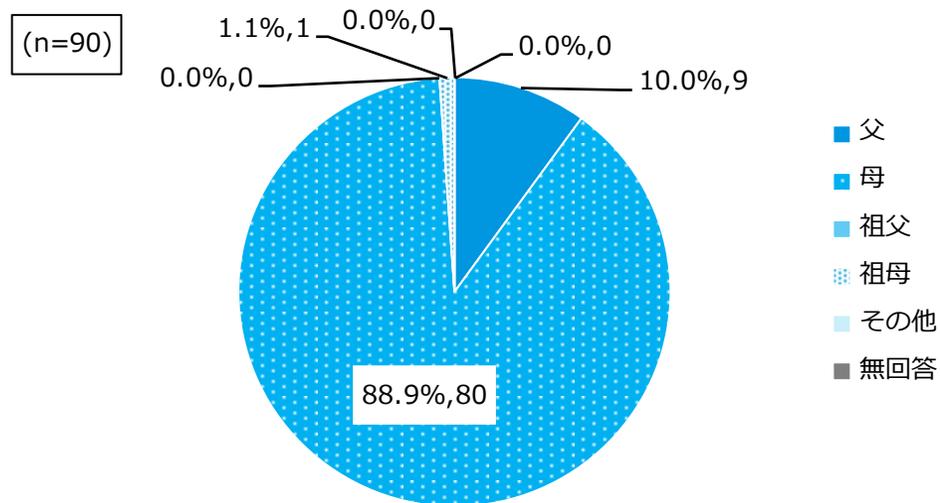


3 保護者調査結果の概要

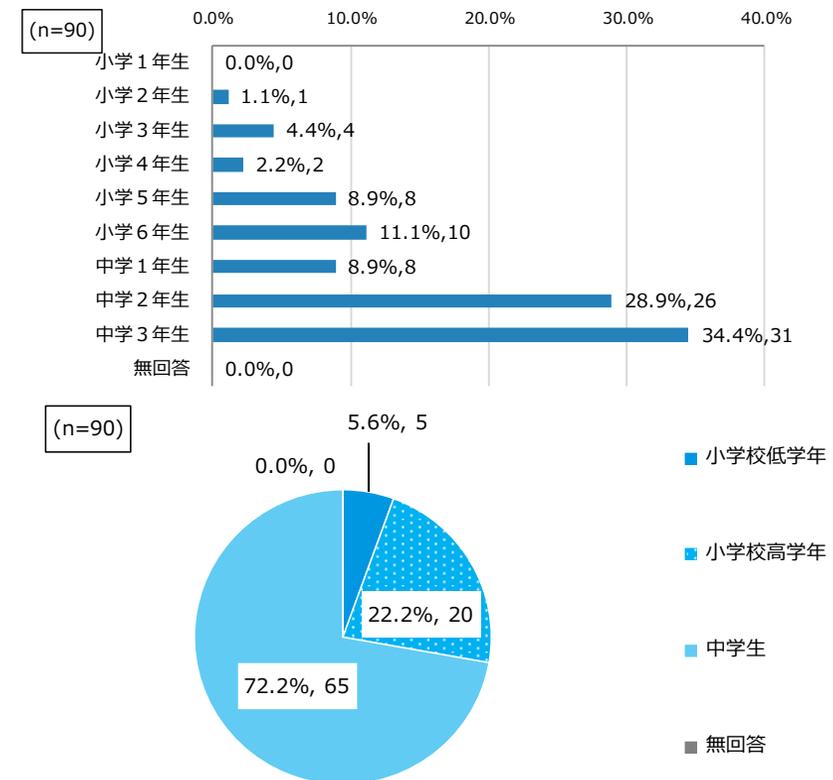
回答者と対象児童・生徒との関係、子どもの学年

- アンケート回答者と子どもの関係について、「父」が10.0%で9人、「母」が88.9%で80人、「祖母」が1.1%で1人となっています。
- 子どもの学年について、「小学2年生」が1.1%で1人、「小学3年生」が4.4%で4人、「小学4年生」が2.2%で2人、「小学5年生」が8.9%で8人、「小学6年生」が11.1%で10人、「中学1年生」が8.9%で8人、「中学2年生」が28.9%で26人、「中学3年生」が34.4%で31人となっています。
- また、『小学校低学年』では5.6%で5人、『小学校高学年』では22.2%で20人、『中学生』では72.2%で65人となっています。

【問1 回答者と対象児童・生徒との関係】



【問2 子どもの学年】



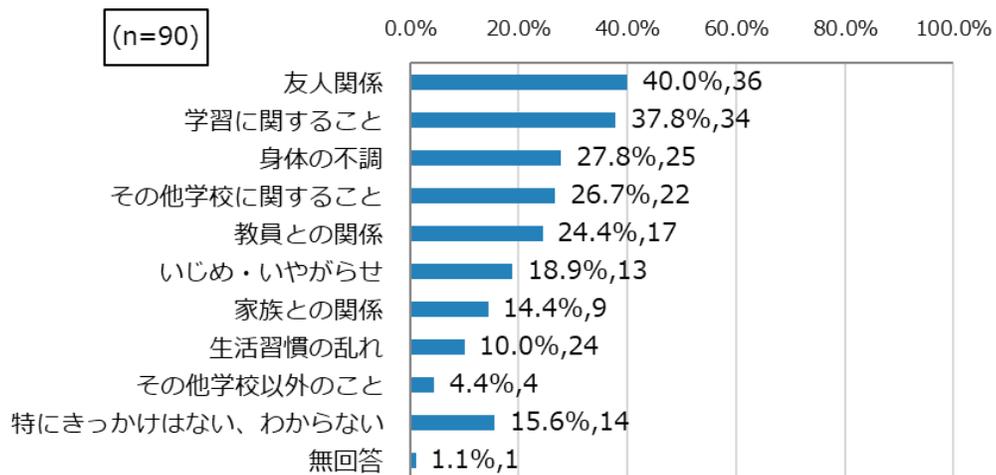
問1. このアンケートを回答いただく方について、お子さんとの関係を教えてください。【〇は1つだけ】

問2. 対象となるお子さんの学年をお答えください。【〇は1つだけ】

日中学校以外で過ごすようになったきっかけ

- 日中学校以外で過ごすようになったきっかけについて、「友人関係」（40.0%で36人）が最も多く、次いで「学習に関すること」（37.8%で34人）、「身体の不調」（27.8%で25人）となっています。
- きっかけごとに複合的な要因（各回答と一緒に選ばれた回答）を確認すると、「友人関係」、「教員との関係」、「家族との関係」等の人間関係では、相互に高くなっています。また、「学習に関すること」は全体的にきっかけとなった割合が高い傾向にあります。

【問5 日中学校以外で過ごすようになったきっかけ】



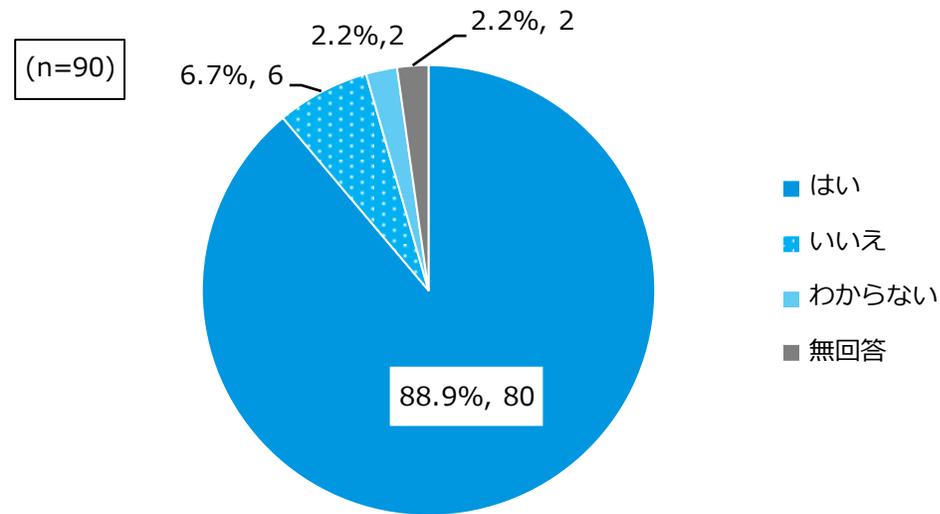
【問5 きっかけに関する複合的要因の状況】

	全体	友人関係	学習に関すること	身体の不調	その他学校に関すること	教員との関係	いじめ・いやがらせ	家族との関係	生活習慣の乱れ	その他学校以外のこと	特にきっかけはない、わからない
全体	90	40.0%	37.8%	27.8%	26.7%	24.4%	18.9%	14.4%	10.0%	4.4%	15.6%
友人関係	36	100.0%	44.4%	22.2%	22.2%	41.7%	30.6%	19.4%	16.7%	2.8%	8.3%
学習に関すること	34	47.1%	100.0%	26.5%	35.3%	23.5%	23.5%	8.8%	14.7%	2.9%	8.8%
身体の不調	25	32.0%	36.0%	100.0%	16.0%	20.0%	20.0%	16.0%	12.0%	-	-
その他学校に関すること	24	33.3%	50.0%	16.7%	100.0%	12.5%	16.7%	12.5%	4.2%	-	-
教員との関係	22	68.2%	36.4%	22.7%	13.6%	100.0%	36.4%	31.8%	18.2%	4.5%	4.5%
いじめ・いやがらせ	17	64.7%	47.1%	29.4%	23.5%	47.1%	100.0%	41.2%	11.8%	5.9%	11.8%
家族との関係	13	53.8%	23.1%	30.8%	23.1%	53.8%	53.8%	100.0%	30.8%	7.7%	7.7%
生活習慣の乱れ	9	66.7%	55.6%	33.3%	11.1%	44.4%	22.2%	44.4%	100.0%	-	11.1%
その他学校以外のこと	4	25.0%	25.0%	-	-	25.0%	25.0%	25.0%	-	100.0%	25.0%
特にきっかけはない、わからない	14	21.4%	21.4%	-	-	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	100.0%

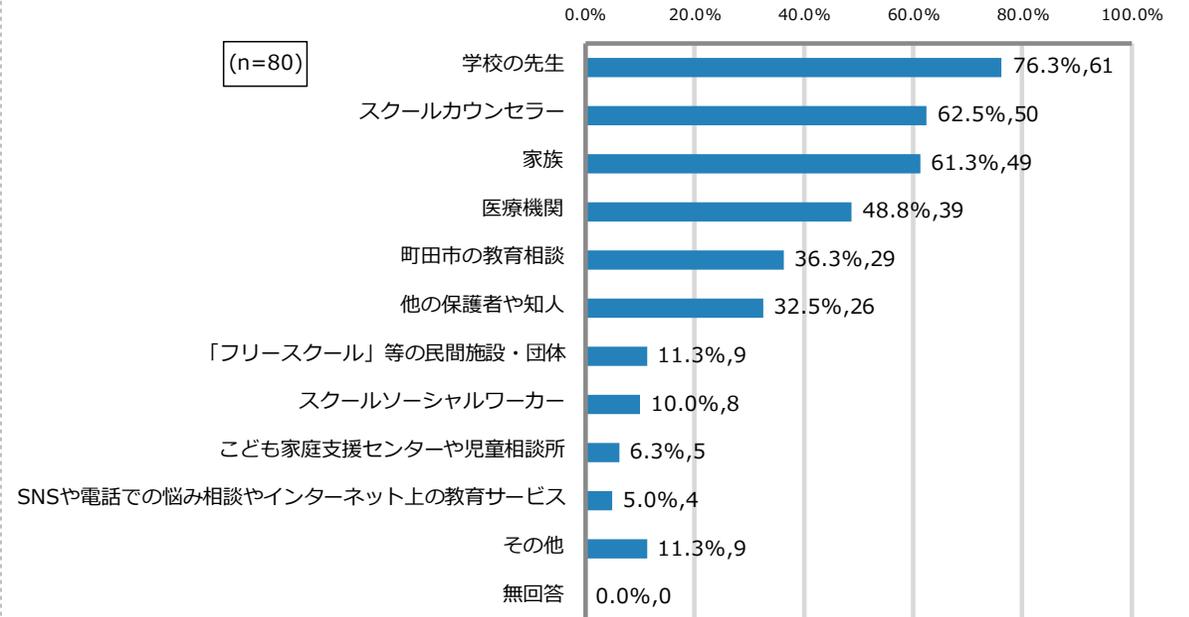
子どもが学校以外の場所で過ごし始めたときに相談したか/相談した相手

- 子どもが学校以外の場所で過ごし始めたときに、誰かに相談をしたかについて、「はい」が88.9%で80人、「いいえ」が6.7%で6人、「わからない」が2.2%で2人となっています。
- 相談した相手について、「学校の先生」(76.3%で61人)が最も多く、次いで「スクールカウンセラー」(62.5%で50人)、「家族」(61.3%で49人)となっています。

【問6 子どもが学校以外の場所で過ごし始めたときに相談したか】



【問7 相談した相手】



※子どもが学校以外の場所で過ごし始めたときに相談した場合のみ回答

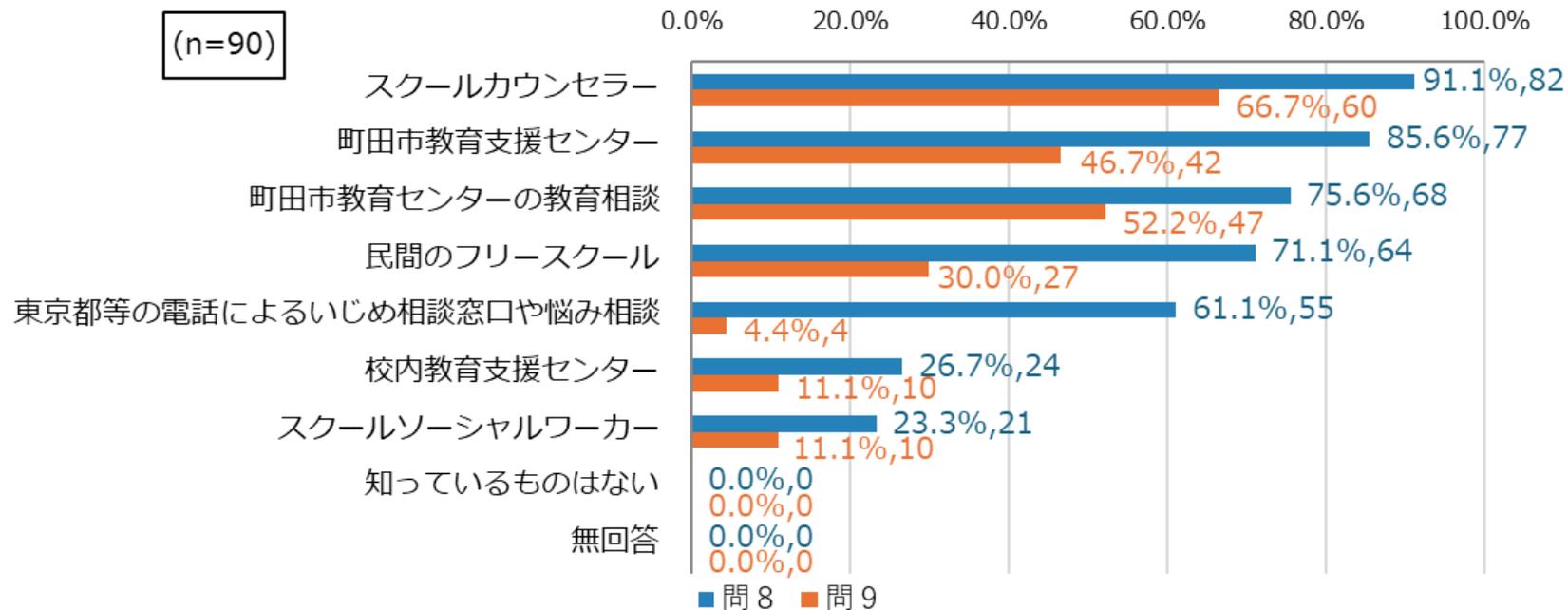
問6. お子さんが学校以外の場所で過ごし始めたとき、誰かに相談しましたか。【〇は1つだけ】

問7. 相談した方について、あてはまるもの全てをお答えください。【〇は1つだけ】

知っている支援・サービス/利用したことのある支援・サービス

- 知っている支援・サービスについて、「スクールカウンセラー」(91.1%で82人)が最も多く、次いで「町田市教育支援センター」(85.6%で77人)、「町田市教育センターの教育相談」(75.6%で68人)となっています。
- 利用したことのある支援・サービスについて、「スクールカウンセラー」(66.7%で60人)が最も多く、次いで「町田市教育センターの教育相談」(52.2%で47人)、「町田市教育支援センター」(46.7%で42人)となっています

【問8 知っている支援・サービス】、【問9 利用したことのある支援・サービス】



※問9はどれか1つでもサービスを知っている場合回答

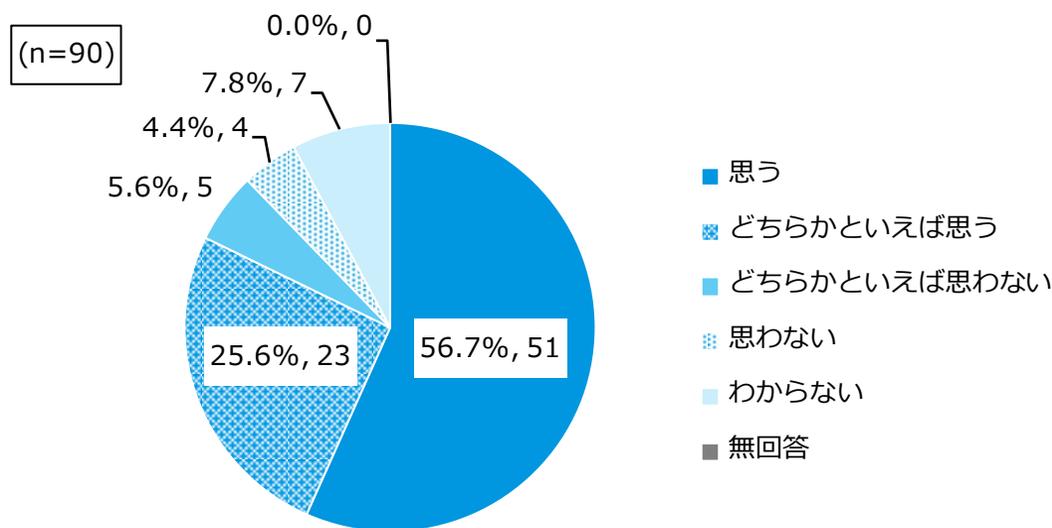
問8. お子さんの教育上の課題について利用できる、以下の支援やサービスのうち、あなたをご存知のものはありますか。【あてはまるもの全てに○】

問9. 問8で答えた支援やサービスのうち、実際に利用したものすべてをお答えください。【あてはまるもの全てに○】

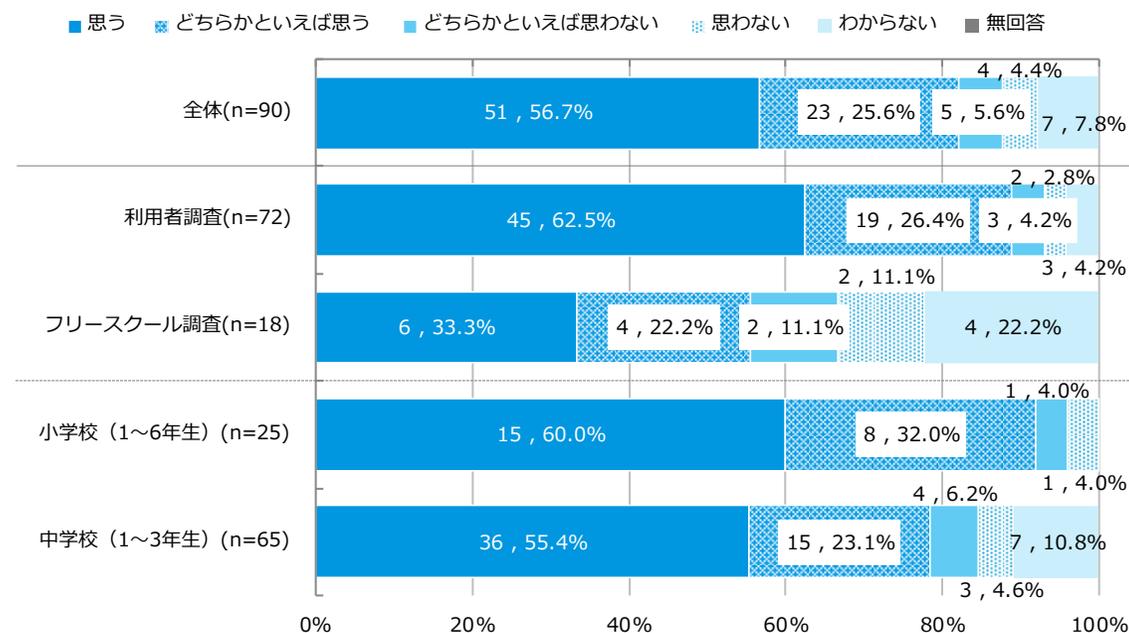
「学びの多様化学校」を子どもにすすめたいか

- 「学びの多様化学校」を子どもにすすめたいかについて、「思う」が56.7%で51人、「どちらかといえば思う」が25.6%で23人、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）は82.3%でした。「どちらかといえば思わない」が5.6%で5人、「思わない」が4.4%で4人、『思わない』（「どちらかといえば思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は10.0%でした。「わからない」は7.8%で7人となっています。
- 調査別でみると、「利用者調査」では『思う』が88.9%で64人、「フリースクール調査」では『思う』は55.5%で10人となっています。
- 学年別（問2）でみると、「小学校（1～6年生）」では『思う』が92.0%で23人、「中学校（1～3年生）」では『思う』が78.5%で51人となっています。

【単純集計】



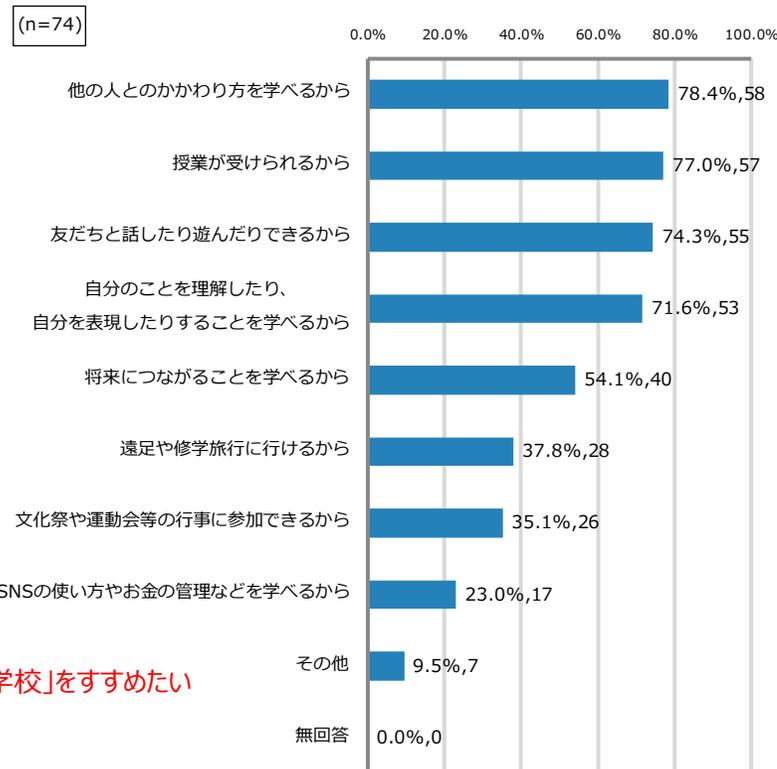
【クロス集計】



「学びの多様化学校」をすすめる理由/ 子どもが「学びの多様化学校」に通うために必要なサポート

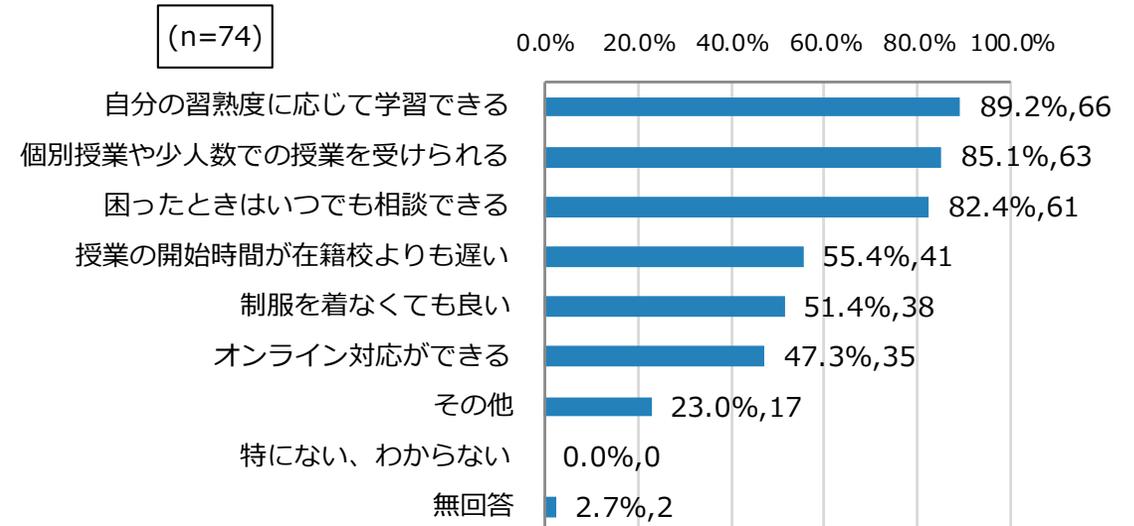
- 子どもに「学びの多様化学校」をすすめる理由として、「他の人とのかかわり方を学べるから」（78.4%で58人）が最も多く、次いで「授業が受けられるから」（77.0%で57人）、「友だちと話したり遊んだりできるから」（74.3%で55人）となっています。
- 子どもが「学びの多様化学校」に通うために必要なサポートとして、「自分の習熟度に応じて学習できる」（89.2%で66人）が最も多く、次いで「個別授業や少人数での授業を受けられる」（85.1%で63人）、「困ったときはいつでも相談できる」（82.4%で61人）となっています。

【問11 「学びの多様化学校」をすすめる理由】



※「学びの多様化学校」をすすめたい
場合のみ回答

【問12 子どもが「学びの多様化学校」に通うために必要なサポート】



※「学びの多様化学校」をすすめたい
場合のみ回答

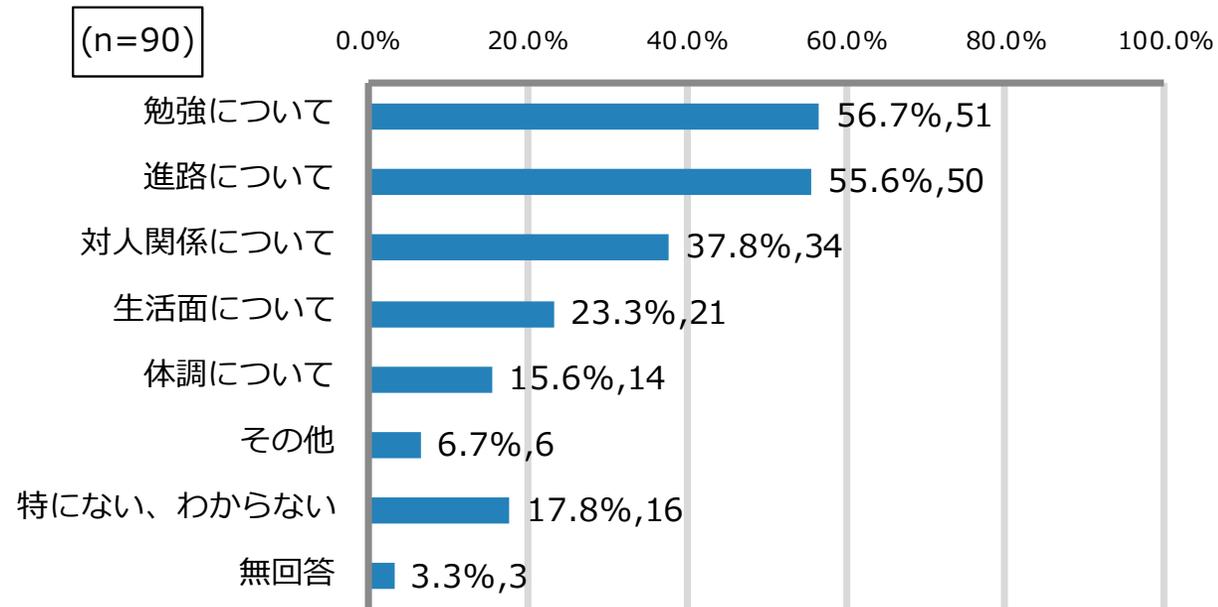
問11. 「学びの多様化学校」をすすめたいと思う理由を教えてください。【あてはまるもの全てに○】

問12. お子さんが「学びの多様化学校」に通うためには、どのようなサポートがあれば良いと思いますか。【あてはまるもの全てに○】

子どもに関する相談内容

- 子どもに関する相談内容について、「勉強について」（56.7%で51人）が最も多く、次いで「進路について」（55.6%で50人）、「対人関係について」（37.8%で34人）となっています。

【問14 子どもに関する相談内容】





4 ヒアリング調査結果の概要

学びの多様化学校について、通わせたい/通わせたくないと思う理由

通いたい、通わせたい

少人数・柔軟な学習環境を期待しているから

- 少人数制で学習や友人とのコミュニケーションの練習ができる環境が魅力的
- 自由な時間設定や充実した相談機会がある
- 柔軟な時間割と多様なサポート体制が整っている

子どもの進路が広がることや自分に自信が持てることを期待しているから

- 自己肯定感の向上を期待
- 学習サポートやテスト・成績評価があることで、進路選択の幅が広がる
- 子どもの進学したいという希望を叶えることができる

生活リズムが整う等、生活が改善することを期待しているから

- 他の子どもや大人と関わり、社会性を育む機会が増えることを期待
- 生活リズムを整える場として魅力的

通わせたくない・通わせるのをすすめない理由

環境の変化に対する不安があるから

- 無理に環境を変えることには慎重
- 転校の心理的ハードルが高い
- 現在の状態で特に通わせる必要がない

交通や施設面の課題

- 通学が不便

その他

- 実際に見学してから決めたい

サポートとしてあれば良いと思うこと

① 学習支援・進路指導

学習支援の充実

- 子どものペースに合わせた学び方ができること
- 近隣で学習支援の場や相談の機会があること
- くすのき教室以外にも学習ができること

進路支援の充実

- 進路相談ができる場所
- 就職や職業訓練を受ける機会の提供

その他の学びの充実

- 作業療法室や探求型学習の場
- グループワークや協力する機会を通じたソーシャルスキルの学習

② 子どもの居場所

学校内

- 学校内に複数の選択肢できる居場所の設置
- 学校内にフリースクールのような居場所

学校外

- 学校以外でも学びの場として機能する居場所
- 子どもの特性に応じて安心して過ごせる環境

③ その他

情報発信

- 学校からの情報発信
- 保護者同士の情報交換

健康診断

- 健康診断の実施



5 まとめ

学びの多様化学校 への通学希望

- 「学びの多様化学校」へ通いたいと思う児童生徒及び、通うことをすすめたいと考えている保護者を確認（児童生徒調査：問8、保護者調査：問10）
- 一方で、通いたくないと考える児童生徒、通うことをすすめない保護者も一定数おり、「学びの多様化学校」が学びの場を確保するための一つ的手段であり、今後も児童生徒の学びの場を確保するための検討を進めていくことが必要
- 特に、通いたくない理由の中には、子どもの今の状態では通うことは難しいや転校に対する不安の意見もみられることから、個々の状態に合わせた柔軟な取り組みや心理的なサポートも必要
- 他方、わからないとの回答もみられることから、「学びの多様化学校」や不登校施策について理解を深めてもらうために、適切な情報の提供を継続していくことが重要

学びの多様化学校に 求められていること

- 「学びの多様化学校」で実施したいことでは「**友だちと話したい・遊びたい**」、「**授業を受けたい**」、「**遠足や修学旅行に行きたい**」等、多様な希望を確認（児童生徒調査：問9、ヒアリング調査）
- その中で、「**友だちと話したい・遊びたい**」が最も高くなっており、（児童生徒調査：問9）、保護者は「**学びの多様化学校**」をすすめたいと思う理由として「**他の人とのかかわり方を学べるから**」の割合が最も高いことから（保護者調査：問11）、**より対人関係の充実が求められる**
- 日中学校以外で過ごすようになったきっかけでは、「**友人関係**」が最も高く、次いで「**学習に関すること**」（保護者調査：問5）。大人数での学習やコミュニケーションについては苦手であるという意見が多数あり**少人数制であること、学習の習熟度に応じて学ぶことができること**等の学びの環境を整えること必要（保護者調査：問12、ヒアリング調査）。
- 「学びの多様化学校」に通う対象である「**中学校（1～3年生）**」は、**進路について相談したい**と思っている割合が高く（児童生徒調査：問7）、保護者も**子どもの進路について相談したい**と思っているため（保護者調査：問14、ヒアリング調査）、「**学びの多様化学校**」の特色に沿った「**一人ひとりに合った進路相談**」の充実が必要

不登校児童生徒及び保護者のみなさんの大変貴重な意見を伺うことができました。
ご協力くださいましたみなさまに深く感謝を申し上げます。

町田市の不登校児童生徒は1,378人（2023年度）となっており、年々増加しております。
引き続き、不登校児童生徒および保護者の声を確認していくことが必要と考えています。